

平成19年度

公立大学法人山口県立大学

当初予算記者発表資料

平成19年3月29日

【問合せ先】

公立大学法人山口県立大学
経営企画室

Tel 083-928-5467

担当 あの かじま
 阿野 梶間

1 予算編成方針

平成19年度は、平成18年度に地方独立行政法人に移行した本学が、法人化後に策定した中期計画（平成18年度～23年度の事業計画）の着実な達成に向け、計画に掲げる様々な取組みを本格化・加速化していかなければなりません。

こうしたことから、法人化後2年目となる平成19年度予算は、これを「中期計画実行元年予算」と位置づけ、予算編成に当たっては、

- 「教育・研究」の活性化
- 「地域貢献・地域連携」の強化
- 「学生支援」の充実

を推進することを最重点とし、計画的かつ有効的な予算配分を行うことを基本方針として編成を行いました。

また、こうした基本方針のもとでの個別の事業の予算化に当たっては、事業効果の有効な発現を図るため、

- ① 中期目標・中期計画の着実な達成
- ② 学部学科再編による教育研究のさらなる充実
- ③ 授業料改定に見合う教育内容及び学生サービスの充実

に資する事業への積極的・重点的な配分に努めました。

2 予算の概要

(1) 予算規模

予算規模は、20億6百万円で、前年度当初予算(20億2百万円)に比べ、0.2%増(4百万円増)となっています。

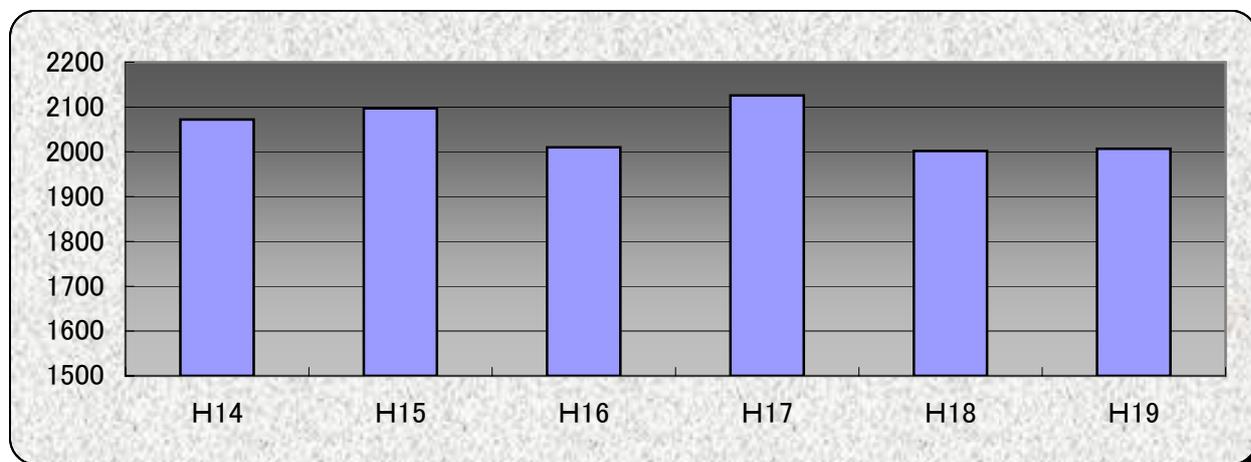
(単位 千円)

区 分	平成19年度A	平成18年度B	A - B = C	C / B (%)
予 算 規 模	2,006,523	2,002,018	4,505	0.2

<参考> 当初予算規模の推移

(単位 千円)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
2,072,308	2,096,847	2,009,620	2,144,587	2,002,018	2,006,523



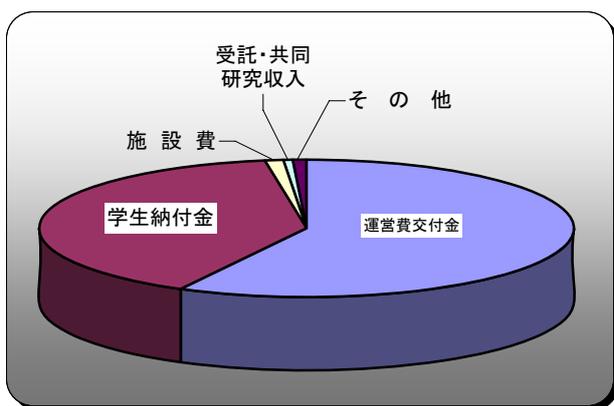
※1 平成17年度までは県予算（法人化前）、平成18・19年度は法人予算。

※2 平成17年度は、独立行政法人移行経費、大学院(博士課程)設置経費(146,775千円)を含む。

(2) 収入予算の概況

(単位 千円、%)

区 分	平成19年度A		平成18年度B		A - B = C	C / B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運 営 費 交 付 金	1,158,520	57.7	1,201,000	60.0	△ 42,480	△ 3.5
施 設 費	20,000	1.0	21,000	1.0	△ 1,000	△ 4.8
学 生 納 付 金	798,303	39.8	757,476	37.8	40,827	5.4
受 託 ・ 共 同 研 究 収 入	12,000	0.6	10,000	0.5	2,000	20.0
そ の 他	17,700	0.9	12,542	0.6	5,158	41.1
合 計	2,006,523	100.0	2,002,018	100.0	4,505	0.2



◆運営費交付金と学生納付金とで収入予算総額の97.5%を占めています。

◆運営費交付金は、中期計画期間中の総額（62億円）の範囲内で、法人の財政計画に沿って、県から交付される平成19年度分の額として、11億58百万円(△3.5%)を見込んでいます。

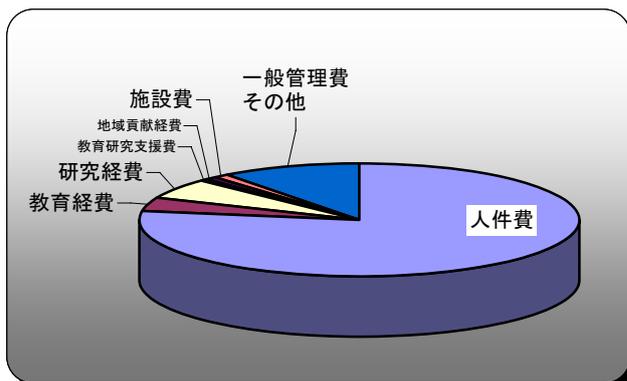
◆学生納付金は、授業料改定により約20百万円、定員増により約10百万円の増収を見込み、5.4%増となっています。

◆受託・共同研究収入は、中期計画の設定（期間中に倍増）を踏まえ、20%増の獲得を目指しています。

(3) 支出予算の概況

(単位 千円、%)

区 分	平成19年度A		平成18年度B		A - B = C	C / B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
人 件 費	1,553,738	77.4	1,564,837	78.2	△ 11,099	△ 0.7
教 育 経 費	82,078	4.1	70,087	3.5	11,991	17.1
研 究 経 費	116,844	5.8	116,890	5.8	△ 46	0.0
教 育 研 究 支 援 費	8,797	0.4	8,159	0.4	638	7.8
地 域 貢 献 経 費	18,536	0.9	15,737	0.8	2,799	17.8
施 設 費	20,000	1.0	21,000	1.0	△ 1,000	△ 4.8
一 般 管 理 費 其 他	206,530	10.3	205,308	10.3	1,222	0.6
合 計	2,006,523	100.0	2,002,018	100.0	4,505	0.2



◆人件費が支出予算総額の約3/4(77.4%)を占めています。なお、人件費の約80%(12億38百万円)は教員人件費となっています。

◆教育経費は、学部学科再編等に係る教育内容の充実や、学生利用施設の環境改善を図るための経費を措置したことから、17.1%増となっています。

◆地域貢献経費は、受託・共同研究の拡大を見込み、17.8%増となっています。

3 重点・新規事業など

(1) 教育・研究

★特色ある新たな教育課程の編成

学部学科再編に伴い、新たな教育課程を編成し特色ある教育を行います。

＜特色ある授業科目の事例＞

全学共通教育

【基礎セミナー】

大学での学習に必要な基礎的素養（自立的学習態度や批判的思考能力）の養成や、健康で豊かな大学生活を実現するための基盤となる教育を、全学（1年次）必修科目として開講する。

【キャリアデザイン】

グループワークや他者とのコミュニケーションを通して、自己認識を深め、自分の職業・生きがいなどについて、幅広い豊かな将来設計を描くことができる力を習得させる。

国際文化学部

【中国語、韓国語】

効果的な語学力習得に向け、従来の週1回開講を週2回開講とし、さらに20人程度の少人数クラス編成・能力別クラス編成での授業を行うことにより、語学教育の充実を図る（英語については実施済）。

看護栄養学部・社会福祉学部

【ヒューマンケア入門】

メタボリック症候群等身近な問題を素材に看護・栄養・福祉の連携と協働の実践について学び、対人援助能力養成の基盤を、両学部の連携教育として開講する。

★教育研究力向上対策 722千円

教員の教育能力の向上や研究活動の促進を図るため、教員を対象とする研修制度等を拡充します。

新①教育能力向上に資する学外研修の充実 604千円

教育研究における他大学の優れた取組事例を紹介するフォーラムへの参加(3年に1度)を全教員に義務付けること等により、本学での取組みの促進と、こうした取組みに対する文部科学省からの補助金(GP)採択を目指します。

※GP: 文部科学省が行う「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」、「特色ある大学教育支援プログラム」等の選定事例及びこれに係る大学改革推進等補助金

新②外部資金研究費獲得のための学内研修の充実 118千円

科学研究費補助金をはじめとする外部資金研究費の採択率向上のため、効果的な応募方法や申請方法などについて、外部講師による教員研修を学内で定期的に行います。

★ 大学院生学会発表支援 300千円

新 大学院生の総合的な研究能力の育成・向上のため、学会等における学術発表の機会増加に資する支援制度を創設します。

▼ 国内5万円、国外10万円を限度とした学会等発表参加費等に対する助成

★ 図書館利用利便性向上 695千円

新 平日夜間(19:00~22:00)及び土曜日(9:00~22:00)の特別利用(閲覧、複写、情報検索サービスのみ)を日曜日(9:00~22:00)にも拡充し、併せて自動貸出システムの導入により特別利用時の貸出サービスを新たに開始するなど図書館利用の利便性向上を図ります。

★ 教授研究費の配分見直し

研究費のうち特別研究費(競争的研究費)の配分割合を高めることにより、学内の研究活動を促進し、教員の研究能力の向上を図ります。

	平成19年度	(前年度比)	平成18年度
▼ 個人研究費及び学部共通研究費	74,000千円程度	△10%程度 ←	82,461千円
▼ 特別研究費(競争的研究費枠)	41,500千円程度	+25%程度 ←	33,085千円
合 計	115,500千円程度		115,546千円

(2) 地域貢献・地域連携

新★ 住民主導型介護予防活動支援事業 1,711千円

地域住民による介護予防活動の促進を目的に、保健・福祉・栄養の専門職(保健師、ソーシャルワーカー、管理栄養士など)の協力を得ながら、介護予防活動を地域住民が主導的・自主的に継続実施していくための指針となる「住民主導型介護予防活動支援マニュアル」を、地域課題解決に資する本学発の提案型研究事業の成果として策定し、これに基づいたモデル事業の実施を関係団体や行政機関に提案します。

平成20年度以降、関係団体・行政機関等と本学との連携によるモデル事業の実践(共同研究・受託研究等)を企図する。

【事業内容】

- ▼ 産学公連携・学内関係学部連携による研究組織体制の構築
- ▼ 先進事例の取材・調査・研究
- ▼ 「住民主導型介護予防活動支援マニュアル」の策定
- ▼ モデル事業実施の提案

★各種講座（オープンカレッジ）の拡充

区 分	平成19年度	平成18年度
▼ 公 開 講 座	5 講座 (5市)	6 講座 (5市町)
▼ 公 開 授 業	6 講座	4 講座
▼ 公 開 講 演 会	1 講座	1 講座
▼ サテライトカレッジ	13 講座 (9市町)	9 講座 (6市)
▼ やまぐち桜の森カレッジ	4 コース	4 コース
▼ キャリアアップ研修	3 講座	2 講座
▼ 合 計	32 講座等	26 講座等

公開講座	「世界への扉を開こう」「みんながってみんな幸せ」「豊かな暮らしづくり」「健康な生活をつくる」「やまぐちの文学」
公開授業	「生命と生活の質特論」「環境問題」「基礎セミナー(環境)」「基礎セミナー(健康)」「女性学」「医学」
サテライトカレッジ	「健康に・上手に生きるために」「環境アドバイザー講座(発展編)」「子育て実務講座」「やまぐち地域価値創造セミナー2007」「もっともっと世界を知ろう!」「命と健康~ようこそ、ヒーリング・癒しの世界へ~」など
キャリアアップ研修	「軽度発達障害の理解と対応」「看護職キャリアアップ講座」など

※講座の名称・内容はいずれも現時点での予定・仮称であり、今後、変更することがあります。

(3) 学生支援

★教育内容及び学生サービスの充実

学生生活の活性化、学生利用施設の改善、教育内容の充実など学生が直接利便を享受できる事業・事項への予算の優先配分を行い、学生サービスの拡充を図ります。

▼ 学生表彰	110千円
▼ 学生生活支援事業	500千円
▼ 大学院生学会発表支援	300千円
▼ グローバル学生交流拡充	3,677千円
▼ 交換留学生支援等	657千円
▼ 図書館利用利便性向上	695千円
▼ 健康サポートセンター利用改善	1,212千円
▼ 食堂設備改修	1,110千円
▼ 課外活動施設(有隣館)改修等	1,451千円
▼ エコアクション21の活動活性化	1,732千円
▼ 教育内容充実に伴う新科目開講(準備)	2,442千円
▼ 教育内容充実に伴う非常勤講師増	9,155千円
▼ 実習用備品等の充実	2,387千円

など

★＜参考＞授業料改定の概要

▼ 授業料等の改定＜平成15年の改定以来5年ぶり＞

名 称	区 分	平成19年度	平成18年度
授 業 料	学 生	535,800円/年	520,800円/年
	研 究 生	356,400円/年	346,800円/年
科目等履修料	科目等履修生	14,800円/単位	14,400円/単位

▼ 授業料等改定影響額 約 20,000千円

★ 学生表彰 110千円

新 学業・研究における優秀者、課外活動において成果を挙げた者、社会貢献における功績者、人命救助等に尽力した者など、顕彰すべき学生に対する表彰制度を創設します。

★ 学生活動支援事業 500千円

学生の自主企画による課外活動を支援し大学の活性化に資するため、平成18年度に試行実施した「YPUドリームアドベンチャープロジェクト」を本格実施します。

★ 学生利用施設の環境整備 3,773千円

新 健康サポートセンター、食堂、課外活動施設(有隣館)など、学生が利用する施設の改善・改修等利用環境の整備を行います。

- ▼ 健康サポートセンター利用改善 1,212千円
- ▼ 食堂設備改修 1,110千円
- ▼ 課外活動施設(有隣館)改修 1,451千円

★ 交換留学生地域交流 188千円

新 交換留学生※の地域交流の促進や、地域交流企画(文化ウィーク)の実施により、交流環境の整備を図り、地域の国際化にも寄与します。

- ▼ 交換留学生地域交流促進
- ▼ 文化ウィーク企画の実施

※ 交換留学生：学術交流協定を締結している海外の6大学からの留学生(期間1年間)

(4) その他(大学運営など)

★ 大学広報の充実 13,000千円

新 大学広報体制を全般的に見直し、ホームページ・広報誌・ビデオなどの各種媒体を活用した効果的な広報体制を確立し、戦略的な広報を展開します。

- ▼ 理事長(学長)による定期的な情報発信(定例会見の実施)
- ▼ 大学広報誌(季刊)の創刊による総合的な情報発信
- ▼ WEB関係広報の見直し(ホームページのリニューアルなど)
- ▼ PRビデオ制作・配信

★ エコアクション21の活動活性化 1,732千円

本学は平成18年9月に国公立大学としては初のエコアクション21の認証を取得したところですが、平成19年度においても環境教育や環境活動に係る学生・教職員一体となった積極的な取組を推進します。

- 新**
- ▼ エコプロダクツ展(主催(社)産業環境管理協会ほか)への出展による本学の取組のPR
 - ▼ 講演会の開催
 - ▼ エコアクション21中間審査
 - ▼ 環境報告書の発行
 - ▼ EA21学生委員会活動費(廃棄物減量化、学内啓発活動など)

★ 光熱水費節減

環境活動(エコアクション21)の動きとも連動し、持続的な環境負荷の低減につながる大学運営に努め、光熱水費を5%節減を目指します。

光熱水費 平成19年度 (前年度比) 平成18年度
 54,806千円 $\Delta 5.0\%$ ← 57,690千円

★ 人件費の状況

▼ 常勤役職員

平成19年度			平成18年度	
役職員数	予算額	(前年度比)	役職員数	予算額
153名	1,400,238千円	$\Delta 1.6\%$	157名	1,423,613千円

▼ 非常勤講師

平成19年度		平成18年度
予算額	(前年度比)	予算額
46,740千円	24.4%	37,585千円

※学部学科再編に伴う開講科目の増加等による